

第 6 回 野田中学校統合準備委員会 会議録

日時	平成27年3月6日（金）19時30分～20時20分
場所	野田市民館
出席者	委員（21名） 河合熙人、河辺光利、白井正臣、秋山達夫、河辺禎人、林樹一郎、鶴飼秀行、安藤佳世子、中村洋隆、河合知夜美、鈴木正次、河合克弥、河合睦子、河合隆志、鋤柄美保、仲谷文子、藤江恵美子、本多邦彦、大竹加納江、木田剛（代理）、大場勇人（代理） オブザーバー（2名） 鈴木嘉弘経営企画課長、大林正典 事務局（4名） 前田教育部長、中村教育総務課長、三竹教育企画室長、清水教育企画室主任
欠席者	なし
傍聴者	17名
委員長	あいさつ
委員長	それでは、早速、報告事項に入ります。 報告事項1 通学体制について、事務局から説明をお願いします。
事務局	皆さん、こんばんは。 通学体制について報告します。 今年度は、主に通学体制について協議をしてきました。野田校区におかれましては、PTAの皆さんと役員の方々を中心に、平成26年6月に野田小・中の保護者による合同の意見交換会を初め、9月中旬には野田校区13地区において、地区ごとに通学体制についての意見交換会を行うなど、さまざまな協議を重ねていただきましてありがとうございました。 路線バス及びぐるりんバスの通学体制については検討中でございます。これまで朝の通学時間帯への1車両の増便、田原中学校付近へのバス停の新設などが、野田地域への遠距離通学への対応策が出ています。 現在、路線バス及びぐるりんバスのダイヤの調整中でございます。 新年度を迎えるにあたり、引き続き路線バス及びぐるりんバスの通学について検討したいと思っております。 通学体制につきましては、以上でございます。
委員長	ありがとうございました。ぐるりんバスのダイヤについて、より使いやすいように、現在、経営企画課で検討中の段階であると思っております。 皆さんからご意見・ご質問等がありましたらお願いいたします。
委員	路線バス及びぐるりんバスの通学を検討中とのことですが、自転車通学の検討はされていますか。
事務局	今は原則、路線バスとぐるりんバスでの通学方法を検討しています。
委員	この場でもう一度確認したいんですけども、自転車で田原中学校へ通学すること

	はできますか。
事務局	原則はバスでの通学を考えていきたいと思っています。
委員	原則、路線バス通学ということは、自転車通学も可能ということですね。
事務局	現在、ぐるりんバスの時間を調整中ですので、その結果が出てからとなります。 原則は路線バス通学を考えております。
委員	ぐるりんバスのダイヤが出ないと自転車通学はできないのですか。
事務局	今回、最初に公共交通機関での通学について、豊鉄バスとも協議した上で、1台の増発について、ある程度約束をいただいています。まずは公共交通機関で通学できる体制を整えていきたい。その後、無理が生じる場合などには、自転車通学を考えていきたいと思っています。
委員	第4回統合準備委員会だよりの通学に関する主な質疑の中では、「自転車通学でもバス通学でも保険の対象になりますか」との質疑に対して、「通常の経路及び方法により通学する場合は、保険の対象になります」と事務局は回答しており、自転車通学を正式な通学手段と認めたと僕らは判断しますが、その点についてはいかがですか。
事務局	ただ、次の第5回統合準備委員会で、「路線バスを使用して通学する」との方針が決まりました。「路線バスを使用する」ことが、通常の経路になります。 要は、豊鉄バスとして3台目の増便について約束していただいたのにも関わらず、例えば20人、30人の方々が自転車通学となってしまうと、3台目のバス増便の意味がなくなってしまう。その辺もありますので、まずは、ぐるりんバスで通学できるかどうかについて判断した上で、検討させていただきたいです。
委員	私たちは、9月に野田地区の各字の聞き取り調査をしました。その後、豊鉄さんに対して、路線バスの増便ができるのか。増便するための目安となる人数を把握するために各字で自転車通学希望か、路線バス通学希望かの調査をしました。その数字を把握した上で、豊鉄さんが増便しようとの回答をいただいたので、その時点で数に上がった自転車通学の希望者は、当然これは豊鉄さんも認めてもらえたと判断しています。その点についてはどうでしょうか。
事務局	自転車通学希望の調査をしたのですか。それはどのくらいですか。
委員	全体で17名です。
事務局	そうすると、例えば仁崎など、要するにぐるりんバスに乗ると遅くなってしまう子を対象にしているという意味合いですか。
委員	そういう意味ではありません。 あくまで「自転車で行きたいか、路線バスで行きたいか」との単純な質問です。
事務局	自転車か路線バスか、その点については、一度事務局でも検討させてください。
委員長	それでは、ほかの質問はございますか。
委員	1点、質問させていただきます。 現在、教育委員会では、野田から田原中学校への登下校(家⇄学校)について片道どれぐらいの時間を想定しておりますか。
事務局	おおむね1時間ぐらいです。

委員	<p>それでは、帰りは、学校を出て路線バスのバス停まで歩いて、バスで野田まで行きます。ぐるりんバスの時刻表はこれからですが、野田のバス停からぐるりんバスを利用する遠方の子（仁崎、山ノ神、芦など）でも、学校を出てから家までトータル1時間ぐらいの通学を目安とのことでよろしいですか。</p>
事務局	<p>そのように考えていきたいと思っています。</p>
委員	<p>ありがとうございます。</p>
委員長	<p>ほかにご意見・ご質問ございますか。</p>
委員	<p>私たちも1年間、小・中役員の10人で集まり、自分たちで検討して、それを市役所に投げかけてきました。市の都合もあると思いますが、なかなか返事が返ってこないで次に動けず、返事が来てもできないなど、大回りしていて、進んだようで進んでいないような気持ちが、実感としてあります。</p> <p>今日も、もう少し待ってくださいと言われました。実際あと1年間の中でどのように進めていくのか、1年間のスケジュールを示してほしい。</p> <p>P T A、校区、市役所とばらばらで話しているとなかなか進まないの、できれば同じ席で話させてくれると、どんどん進んでいくと思うので、今後はぜひとも一緒にスケジュール調整をしてくれたらと思います。よろしくお願いします。</p>
事務局	<p>平成 27 年度には、統合準備委員会の1年間の事業計画的なものをつくりますので、そこでまたお話し合いをしたいと思っていますので、よろしくお願いします。</p>
委員	<p>よろしくお願いします。</p>
委員	<p>この統合準備委員会のメンバーは充て職できていて、今年度は今日が最後と聞いております。平成 25 年度から平成 26 年度に年度が変わった場合も、ほとんどのメンバーが変更になりました。統合準備委員会のメンバーが変われば、また1から説明していかなければならない状況に陥ります。</p> <p>野田校区としては、来年度、野田校区内に公共交通に対する協議会をつくり、特にぐるりんバスですけれども、野田の場合は通学の関係が絡んできますので、市、現在の P T A の方、地域の方をメンバーにして、もう少し綿密な話し合いをして、統合準備委員会に報告していきたいと思っています。</p> <p>来年度、野田校区としては、公共交通機関の関係を協議する受け皿をつくって、その中でしっかり議論をしていただければと思っています。最後に提案しようと思っていたのですが、話の流れの中で、今、発言させていただきました。</p>
委員長	<p>今、野田校区内の公共交通を考える会について、校区会長から提案されました。ぐるりんバスは今いろいろな課題がたくさんあり、「空気を運んでいる」、「豊鉄バスとの競合がある」など、いろいろな問題があると思われまますので、もう少し市役所の経営企画課長から、ほかの地区の状況も踏まえて説明をお願いします。</p>
経営企画課長	<p>先ほど来のご質問は、今まで活動された中で本当にもっともな疑問などであろうかと思えます。</p> <p>ただ、今の時点で先ほど事務局からお話がありましたように、回答がすぐ出せないのが現実でございます。それは、中学校サイドの運営部分もあろうかと思えます。</p>

	<p>公共交通の、特にぐるりんバスは、特に市街地の周辺部の地域に関しては、それぞれの地域の足として一番利便性の高いものをつくっていきます。ただし、野田地域のように市街地から一定距離はなれたところから、直接市街地に乗り入れさせることとなりますと、本線と完全な競合関係にありますので、今の公共交通政策上認められないので、今のような新しい野田線をつくって進めて行くこととなります。</p> <p>実際に、今のぐるりんバスを大きく見直す理由の一つには、利用者が極めて少ないためです。40 分近く走っても一人しか乗っていない、そういう便があると、本来充実すべきサービスにも資金が回っていかないので、改善していきたいと考えています。平成 27 年 10 月に見直しをしますので、地域の中で、自分たちの地域にはどういったものが必要なのか、これは不要ではないかなどを協議する場を、これは野田に限らず、ほかの校区にも投げかけをしてつくっていきたいと考えています。</p> <p>それを既に 3 年前にやっているのが泉校区です。泉校区にワゴン車が 1 台走っています。地域の中で 2 年半、時間帯などを協議して設定しました。結局利用がほとんどない便があり、火曜日と木曜日と土曜日以外の利用は電話予約になっています。泉校区コミュニティの中で、地域の役員、老人会、PTA の方などに入ってもらって、地域として何が必要なのかを絞りこんでもらう会を今も続けております。月 1 回校区の会合の際に、「いずみ号」のバス利用者増のための運営について、バス停をつくる位置などを話し合っていたいただき、市はそれを受けて改善もしております。</p> <p>野田の校区会長さんにもそうした協議会の設立をお願いしました。今の委員さんにも少し関わっていただきたいと我々も思っております。もちろん、新しい PTA の役員さん、地域の役員さんにもお願いして、そういう中で一番いい形に持っていきたいです。</p> <p>ぐるりんバスの見直しは、今年の 10 月に行いますので、通学が始まる前から走り出します。現在西部線を運行する豊鉄ミディに、校区からご提案いただいた内容で何回か走行して実際の時間を計測しています。6 月までには 10 月以降の事業者が決まりますので、10 月以降は校区の役員会でご説明している基本的な路線でスタートし、そこから路線の運用を変えていこうと思っております。変更していく際には子供たちが 4 月から通学するときに使いやすい方向で改善を行いたいと思っております。</p> <p>公共交通に関しては、今年から来年、来年から再来年と、どういう意図で改善していったかが残る形で、地域や、我々も入って運営を考える組織を立ち上げて協議していただきたいと思っております。</p>
委員長	<p>ありがとうございました。</p> <p>ご意見・ご質問ございますか。</p>
委員	<p>本当に僕らの思いは、この統合を必ず子供たちにプラスになる統合にさせていただきたいと思っております。ただ、通学のことで非常に大変な状態で毎日つらい思いをさせられることだけはどうかやめていただきたいと思っております。</p>
事務局	<p>もちろん、いい統合をしたいと我々も思っておりますので、よろしく申し上げます。</p>
委員長	<p>では、次に、報告事項 2 統合準備委員会の進捗状況について、事務局から報告を</p>

	お願いします。
事務局	（資料 1 により説明）
委員長	ありがとうございました。統合準備委員会の進捗状況について説明がありました。ご意見、ご質問等がございましたらお願いします。
委員	中学校の跡地利用については、市街化調整区域、補助金関係の規制もあろうかと思われれます。そうした詳しい資料を当初の段階で出していただき、その中でできることを検討していきたいと思っておりますのでお願いします。
事務局	はい、わかりました。
委員長	今言われたのは、市街化調整区域に学校教育施設として立地している建物を違う用途に変更する場合、補助金の問題や法の定めがあるものですから、しっかりと事前に整理した後、皆さんに意見を聞く形を取っていただきたいということです。 ほかにご意見よろしいですか。 それでは、報告事項 3、各検討会からの報告をお願いしたいと思います。 始めに交流検討会から報告をお願いします。
田原中学校教頭	田原中学校の教頭の大場です。本日は校長の代理で出席しておりますので、交流検討会の内容について報告させていただきます。 3月9日（月）から3月13日（金）まで田原中学校の学校公開を予定しています。野田中学校にも案内をお配りしていますので、自由に参加してください。 交流事業については、平成26年度中は特には考えていません。人事異動等もありますので、平成27年度になり、職員等が決まってから考えていくことになっています。 交流検討会からは以上です。
委員長	ありがとうございました。 では、続いて P T A 統合検討会から報告をお願いします。
野田小学校長	資料 1 に沿って口頭で説明します。 第 2 回検討会を 11 月 25 日に開催しました。話し合った内容は大きく 4 点です。 1 点目、P T A 組織については、田原中学校の P T A 規約及び細則について、田原中学校の P T A さんに改正をしていただくこととなります。平成 27 年度の P T A 総会で提案をし、承認していただく予定です。具体的に言いますと、例えば P T A の副会長を現在の 4 名から 5 名にさせていただき、P T A 会長を選ぶ指名委員を選ぶわけですが、その指名委員さんを野田小校区から 1 名出してもらうなどについて話し合いを進めていただいております。 2 点目、役員選出についても、大きく規約、細則を見直していただいております。現在、田原中学校には 43 名の地区委員がいるわけですが、生徒数等から適正人数を考えまして、野田校区からは役員さんを 5 名出させていただくという方向で話し合いが進んでおります。5 名のうち、その地区割りについては、野田校区の中でこれから話し合っていく予定です。 3 点目、P T A 交流事業ですが、これは今までも A ブロックという形で、田原中学校区、野田中学校区のミニバレーボール大会などが伝統的に行われています。そのほ

	<p>かには両校の P T A 会長、副会長、教頭先生に参加していただいた意見交換会を 2 月 6 日に持ちました。</p> <p>4 点目、お互いに理解を深める快く受け入れてもらえるような雰囲気土壌をつくっていくということを考えて進めております。</p> <p>次回は、来週 3 月 11 日水曜日に第 3 回目を開催予定でおります。</p>
委員長	<p>ありがとうございました。</p> <p>それでは、次に閉校行事等検討会から、ご報告をお願いいたします。</p>
野田中学校 校教頭	<p>野田中学校教頭の木田でございます。</p> <p>本日、校長の代理で出席をしておりますので、閉校行事等検討会の検討結果を報告させていただきます。資料 2 をごらんください。</p> <p>去る 11 月 25 日に検討会を持ちました。その中で協議されたことは、主に 3 点です。</p> <p>1 点目は、閉校記念実行委員会を設置する件。</p> <p>2 点目は、閉校式をどのような形で進めていくかという件。</p> <p>また、3 点目はそれ以外の内容で田原中学校との統合にかかる関係、この 3 点でございます。</p> <p>その中で、閉校記念実行委員会につきましては、平成 27 年度に校区コミュニティ協議会、P T A、学校関係者で組織を立ち上げていく予定です。日程につきましては、第 1 回実行委員会を 5 月当たりに開催し、以後は適宜内容に合わせて実施検討していく予定でございます。</p> <p>検討内容については、閉校記念式典の目的、組織、期日、内容、予算、配布物等々具体的なことを検討していく予定です。</p> <p>現在のところ、未定ですが閉校式素案という形で検討されたものが、資料に示されています。検討会では 3 月 17 日当たりを一つの候補日としてはどうかという意見が出されています。</p> <p>3 小学校の統合にかかる閉校記念式典は、2 月に 3 校とも実施されました。</p> <p>中学校については、小学校のように 2 月に開催することが、非常に難しい実情があります。例えば既に 1 月末から私立高等学校の推薦入学試験、私立高等学校の一般入学試験、さらにそれに引き続き、公立高等学校の推薦入学試験、そして公立高等学校の出願が 1 月中下旬から 2 月にかけて矢継ぎ早に入ってきます。卒業していく子供たちの進路に関わることは、大変重要なことですので、このことについては 3 年生が進路に集中して落ち着いて取り組めるようにという環境設定をしたいというのが、中学校としての考えです。</p> <p>また、在校している 1 年生や 2 年生につきましては、学年末のテストに向けての勉強をしっかりする時期でもありますし、卒業生を気持ちよく送り出すための 3 年生を送る会の準備などが動いていきます。そうしたときに、並行する形で閉校記念式典のことを動かしていくと、生徒の負担が著しく大きくなってしまいますので、現在のところ 2 月に閉校記念式典を持つというのは、適切ではないということで検討している最中です。</p>

	<p>3月の卒業式が終わり、公立高等学校の入学試験関係のことが一区切りついた日程で閉校記念式典を考えています。</p> <p>まだ、検討段階ですので、今後詰めていくこととなりますが、参加者につきましては、卒業式が終わっておりますので、今の段階では在籍している1、2年生、市の関係の方々、校区コミュニティ協議会の関係者、また学校関係の方はもちろんのこと、保護者、さらには大勢の本校の卒業生の校区の方々にも呼びかけて閉校記念式典に参加していただければと考えています。</p> <p>なお、既に閉校記念式典を行っている3小学校では、リーフレット、航空写真などを入れ込んだクリアファイルなどが、配布されています。こうしたものを参考にしながら、配布物を検討していく予定です。</p> <p>ただ、学校として記念誌の編集は考えておりません。現在の学校の職員数を考えますと、まず在校生の教育活動に全力をあげなければなりません。教育活動に支障をきたすことが懸念されますので、学校としては記念誌の編集はしないということで考えたいと思っています。</p> <p>その他に、平成28年4月の田原中学校との統合にあたり、受入式のあり方については、今のところ平成28年度の田原中学校の新任式の中に盛り込む案が出されているところです。</p> <p>また、学校にあるさまざまな教育関係の備品等につきましては、使えるものもたくさんありますので、平成27年度の夏休みなどを活用しながら、田原中学校、野田中学校の担当者が実際に野田中学校にあるものを見て移設等検討していく予定です。</p> <p>検討段階の初期ではありますが、検討内容をご報告いたします。</p>
委員長	<p>ありがとうございました。</p> <p>一歩踏み込んだ検討をされて、皆さんにも内容がよく理解できたかと思えます。三つの検討会から説明がございました。内容についてご質問等がございますか。それでは、特にないようですので、次に、その他に移らせていただきます。事務局から何かございますか。</p>
事務局	特にございません。
委員長	委員の皆さんから、ご意見、ご質問がございますか。
委員	先ほど会長さんが言われた公共交通を考える協議会については、月に何回など、どのようなペースでやっていく予定ですか。
委員	<p>4月の年度が変わったら第1回目は4月中に開催をして、今ここでいろいろな議論もあったので、やはり通学の問題も絡んでくるので、なるべく回数を重ねて当局側とのコミュニケーションを図れるようにやっていきたいと思えます。</p> <p>メンバーは、まだ具体的なものはないですが、やはり新しい人ばかりでは、特に通学の関係が分からない部分も多いので、やはり現在のPTAの人たちの中からある程度は出ていただいて、その中に加わっていただいてやっていかないと、この会が進んでいかないと思えますので、そんなつもりでおります。</p>
委員長	ほかには、ご質問はありますか。

平成26年度の統合準備委員会については、今回が平成26年度中最後の開催となりました。皆様、長期間ありがとうございました。次の世代を担う子供たちに、また地域のために皆様からはさまざまな意見をいただいて、活発な議論ができたと思います。心から感謝を申し上げます。

次回については、新年度、新しいメンバーになるかと思えますけれども、後任の方にも本年度の経過等を引き継いでいただければ幸いです。よろしく願いいたします。

本日の協議事項についてはすべて終了いたしました。

以上をもちまして、第6回の統合準備委員会を終了いたします。

ありがとうございました。